地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）に係る事業実施結果報告
（各交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）の実績値等）

No	① 交付対象事業の名称	② 事業内容	③ 地方創生交付金実績額 単位：円	④ 本事業における重要業績評価指標（KPI） 指標		指標値	単位	目標年月	⑤ 本事業終了後における実績値 実績値	事業効果	⑥ 外部有識者からの評価 事業の評価	外部有識者からの意見	⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について 今後の方針	今後の方針の理由
1	海外販路開拓・観光振興事業	10月6日（火）～13日（火）まで台湾高雄市へ訪問団を派遣し、高雄市政府、高雄市地元企業等を視察し、旅行博にていも天・銅銭糖・水出し茶を振るまった。 また、肥後大津駅南口において、電光掲示板に航空機の離発着時刻、観光情報等を表示、情報提供を行う。	6,500,000	指標①	（台湾）市場調査・販路開拓や拡大事業新規開拓	2	品目	H28,3	1	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	台湾との事業展開については、町の動きと連動して、町企業連絡協議会としても取組みを進めていく。	追加等更に発展させる	からいもの海外販路確立に向けて、小売店と組んでの商品開発や百貨店での催事等を行い、併せてインバウンド対策も行いながら、将来の誘客に繋げていく。
				指標②	ビジターセンター利用者数	300	人／月増	H28,3	488					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
2	人づくりまちづくり事業	まちおこし大学「実践研究科」の事業として各研修生から実施事業について提案を受け、内容を審査し、事業を実施した。 「提案された事業」 ①からいもの貯蔵オーナー制度 ②大津からいもを使った新触感干し芋開発 ③アプリを利用した大津町の観光情報発信 ④大津町の農産物を活用した食育メニュー　パンフレット作成 ⑤食わんと損ばい！肉の町肥後おおづ事業 ⑥目指せ！「食」の町肥後おおづ事業	4,298,000	指標①	優秀な「事業計画」新たな認定数	5	件	H28,3	5	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	大津町は「通過される町」という認識があるが、震災で状況が変わり、考え方によってはチャンス。取組みを進め、復興が進んだ時でも滞在してもらえる町づくりを進めてほしい。	事業の継続	今後も事業を継続することにより、主体的に地域づくりに関わる人が増え、更なる効果が期待できる。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
3	地域防災力活動支援事業	一行政区に10万円の補助。自主防災組織準備資機材、消火用資機材、救助用資機材などを購入。 各区によって異なるが、発電機、非常用セット、ラジオ付ライト、コードリール、消火器、ハンディーメガホン、投光器などを整備された。	5,000,000	指標①	申請地区数　地区	65	地区	H28,3	51	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	震災時に非常に役に立った。町単独事業として継続をお願いする。	事業の継続	自主防災の意識を高め行動に繋げていくため、今後も全ての地区において実施されるよう取組みを進めたい。
				指標②	新たな講習会等実施地区数	10	地区	H28,3	8					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
4	次世代チャレンジプロジェクト ～地域住民の「共創」による地元特産品を活用した商品開発とその商品を活用した観光事業の展開～	町内の農家、店舗、個人等が協力し、からいもを使った商品を開発し、キャンペーンを実施するなど販売促進を行い、大津町を売り出すことを目的に実施。 最終的には、3月13日に「こびとのいえCafé」を実施し、3月30日に週刊山崎君で放送され、その後、キャンペーンをはることとしていた。	3,000,000	指標①	共創により生まれた商品の数	3	商品	H28,3	10	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	震災もあり、町の賑わいを取り戻していくためにも、町外だけでなく、町内での取組みを継続してほしい。	追加等更に発展させる	町内において一次、二次、三次産業の連携が生まれ、更なる展開が見込める。ただし、震災の影響でメンバーが活動できるかどうかが不透明。
				指標②	共創により生まれた商品を販売する店舗の数	7	店舗	H28,3	7					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
5	次世代チャレンジプロジェクト ～地域住民の「共創」による空き家リノベーションの推進～	全町的に空き家調査を行い、現状を把握すると共に、空き家を活用するためのスキームについて検討。 次年度以降、実際にそのスキームに基づいて空き家をリノベーションし、地域活性化に繋げていくこととしていた。	1,714,160	指標①	空き家リノベーションのスキーム策定	1	件	H28,3	1	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	震災があり、建替えなど今後連担しての開発も進む。今後どうするのか持主の意向を把握しつつ対応していく必要がある。	追加等更に発展させる	古民家的な空き家のリノベーションに向けて動ける体制が整っていたが、リノベーション対象家屋が被災したため、今年度取組めるかは、現時点では未定。
				指標②	空き家持主の意向調査	1	件	H28,3	1					
				指標③	空き家の調査委託	1	件	H28,3	1					
				指標④	ショートステイプログラムの確立	1	件	H28,3	0					
				指標⑤										
6	地方版総合戦略	地方版総合戦略の策定	5,940,000	指標①										
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										